

# Amazia

## 成長可能性に関する説明資料

株式会社Amazia

2018年12月

# Amazia

## 1. 会社概要

**社 名** 株式会社Amazia

**本 社 住 所** 〒150-0044 渋谷区円山町28-3 いちご渋谷道玄坂ビル4階

**設 立** 2009年10月

**資 本 金** 3億720万円

**代表取締役** 佐久間 亮輔

**事 業 内 容** プリミアム型マンガアプリ「マンガBANG！」の企画・運営  
マンガ投稿サービス「マンガEpic！」の企画・運営

**従 業 員 数** 12名（役員7名（内、非常勤3名）、アルバイト1名除く）（2018年10月末現在）



世界にチャレンジするインターネットサービスを創る



## マンガBANG!

### 特徴

- フリーミアムモデル
- プラットフォーム型
- 商業作品

### サービスの強み

- 累計DL数7,795千人のユーザー基盤
- 課金収益+ユーザー全体から広告収益
- 出版社との強固な関係

基本無料のフリーミアムモデルで多数のユーザーを獲得し、毎日利用するアクティブユーザーを増やし、広告+課金でのマネタイズを行っているマンガアプリです。

\*当社調べ

「アカギ」「賭博黙示録カイジ」©福本伸行/highstone.inc.、「エリアの騎士」©伊賀大晃/月山可也、「クローズ」©高橋ヒロシ(秋田書店)、「ろくでなしBLUES」©森田まさのり・スタジオヒットマン/集英社、「銀魂」©空知英秋/集英社



## マンガEpic!

### 特徴

- ユーザー投稿サービス
- 完全無料
- インディーズ作品

### サービスの強み

- マンガBANG!との連携(デビューがしやすい)
- 投稿の操作性

無料で利用できるユーザー投稿型マンガサービスです。デビュー前のマンガ作家を発掘・育成し、人気作品を生み出していきます。

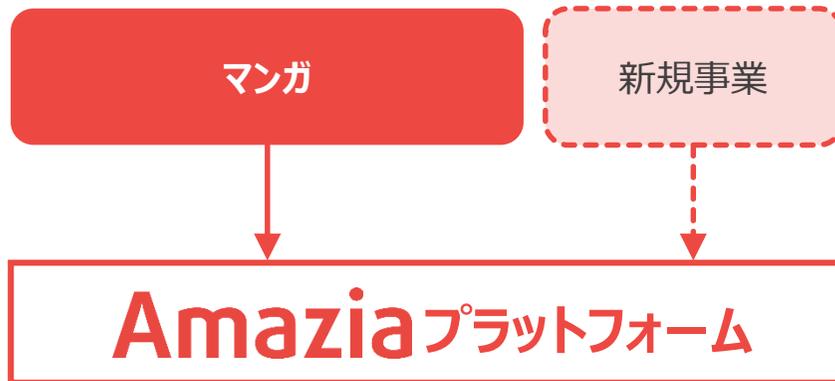
**01** アプリ開発力

**02** マネタイズ力

**03** ライトユーザー基盤

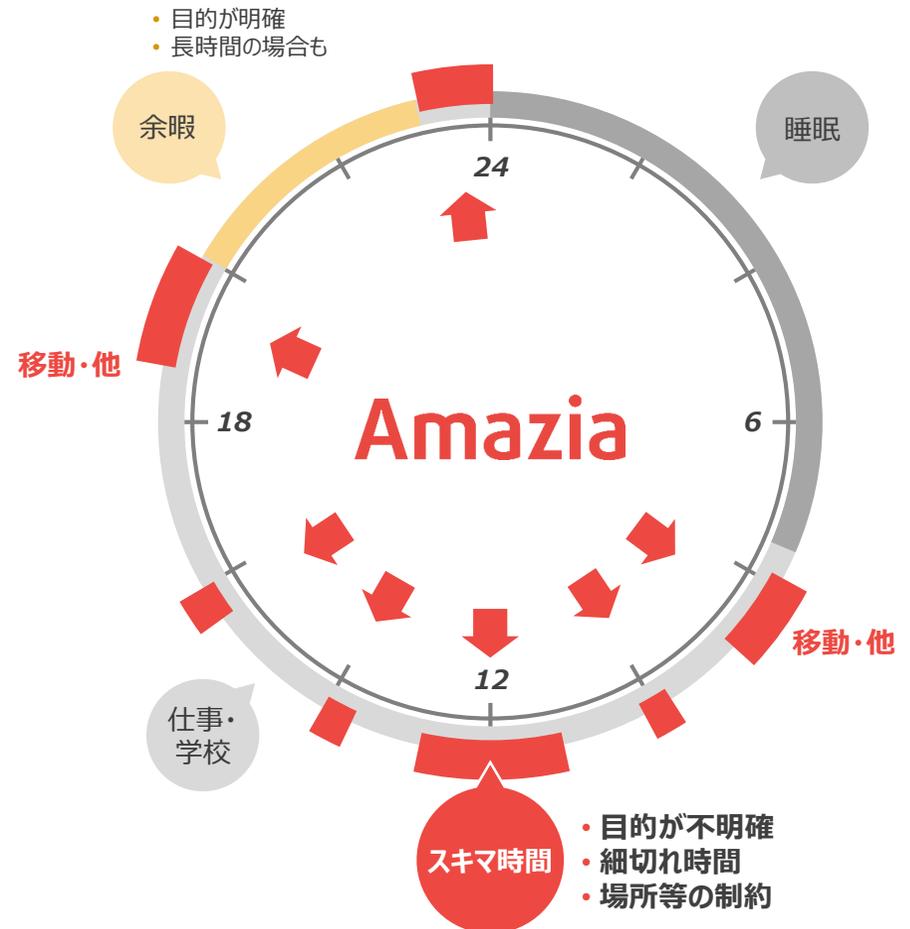
マンガアプリ事業で得られた事業ノウハウ・ユーザー基盤・データを横展開して、スキマ時間を埋めるプラットフォームとしての立ち位置を強化して参ります。

既存事業と親和性の高いジャンルに進出・強化



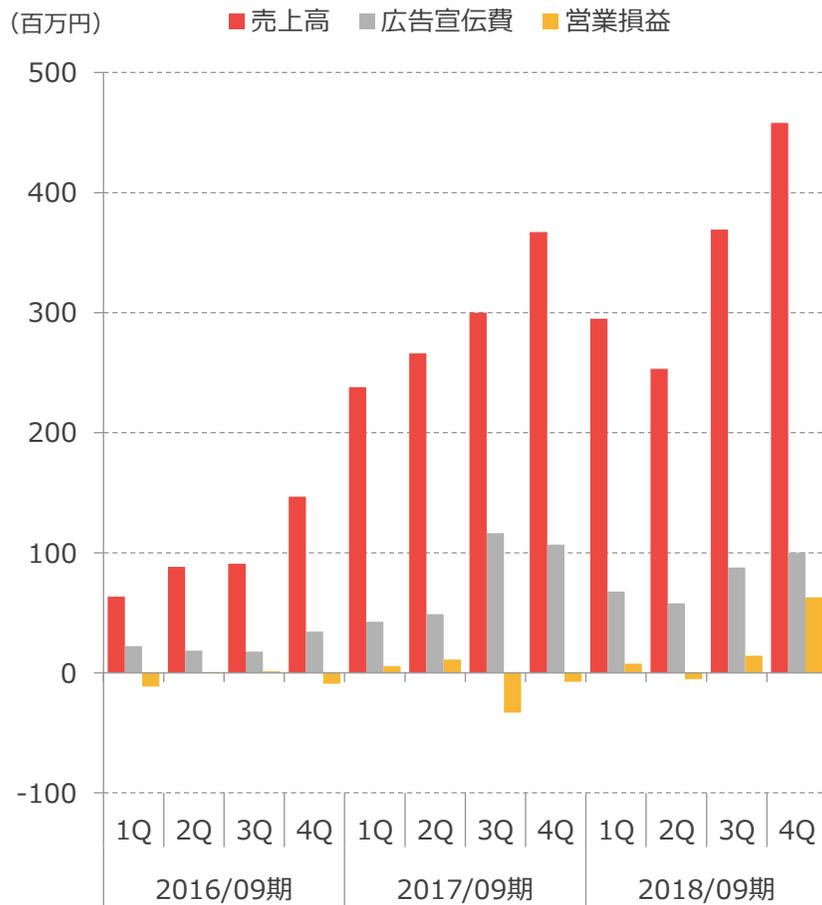
短時間、何回もプラットフォームにアクセス

スキマ時間を楽しむ“ライトユーザー層”



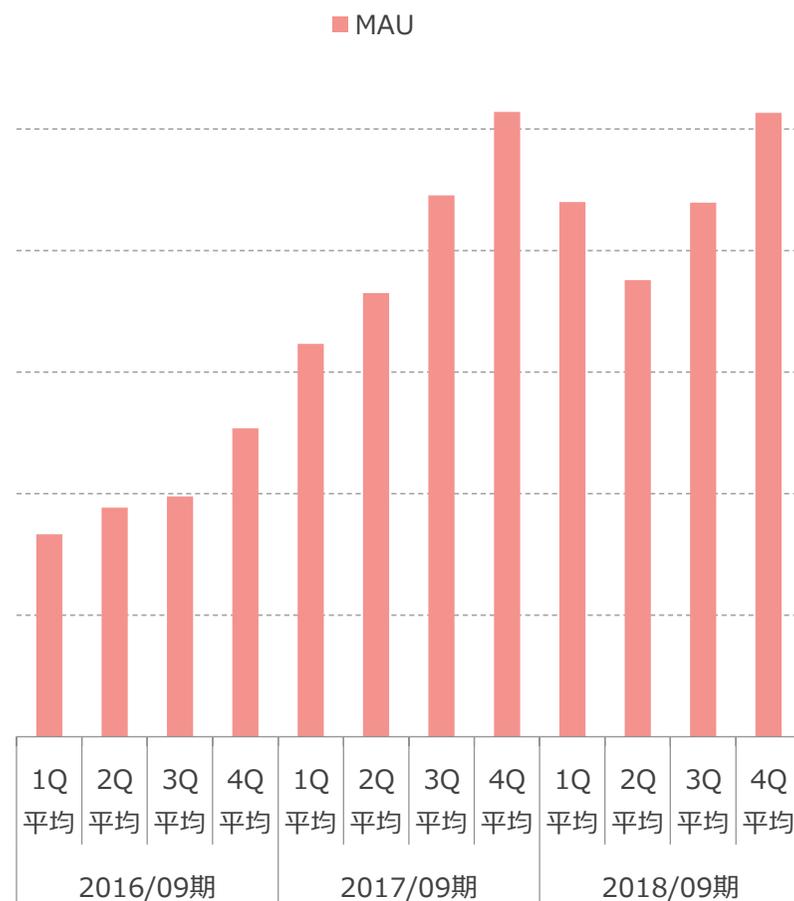
- ・海賊版サイトの影響はあったものの売上高・MAU共に堅調に推移しています。
- ・特に1人当たり広告収益の増加が、売上高・営業利益に貢献しています。

## 売上高・営業利益・広告宣伝費



\*2018/09期1Q~2Qについては漫画村の影響 (22頁参照)

## MAU



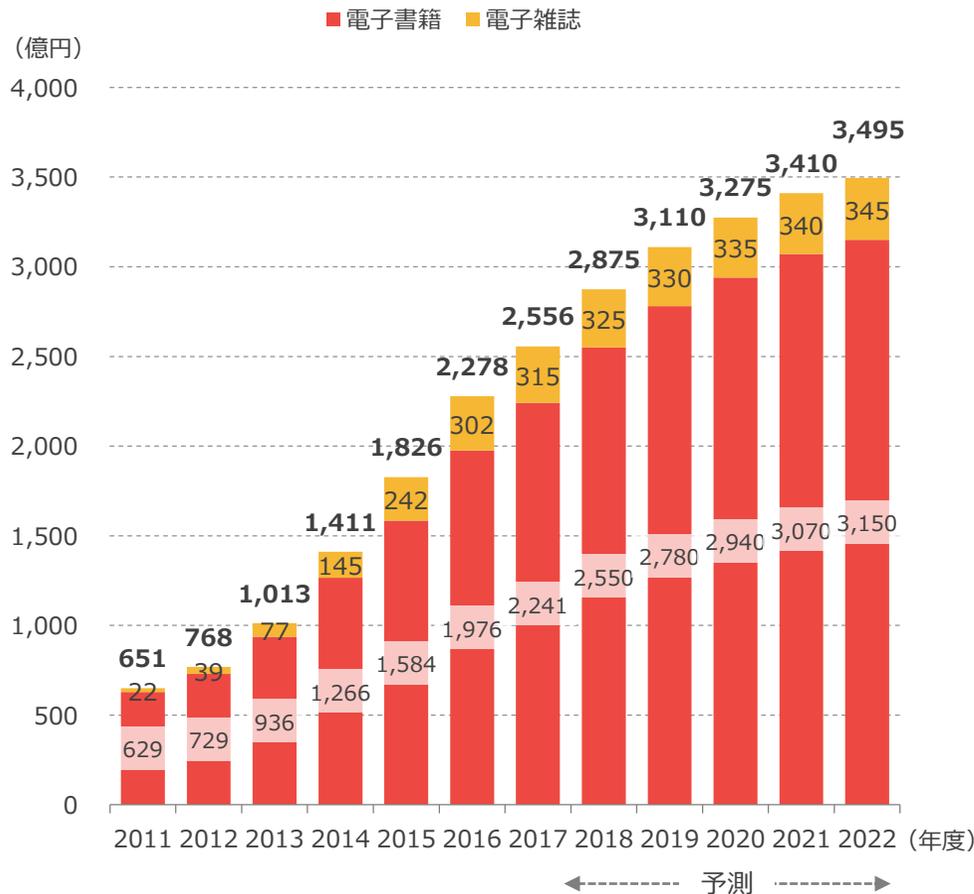
\*2018/09期1Q~2Qについては漫画村の影響 (22頁参照)

# Amazia

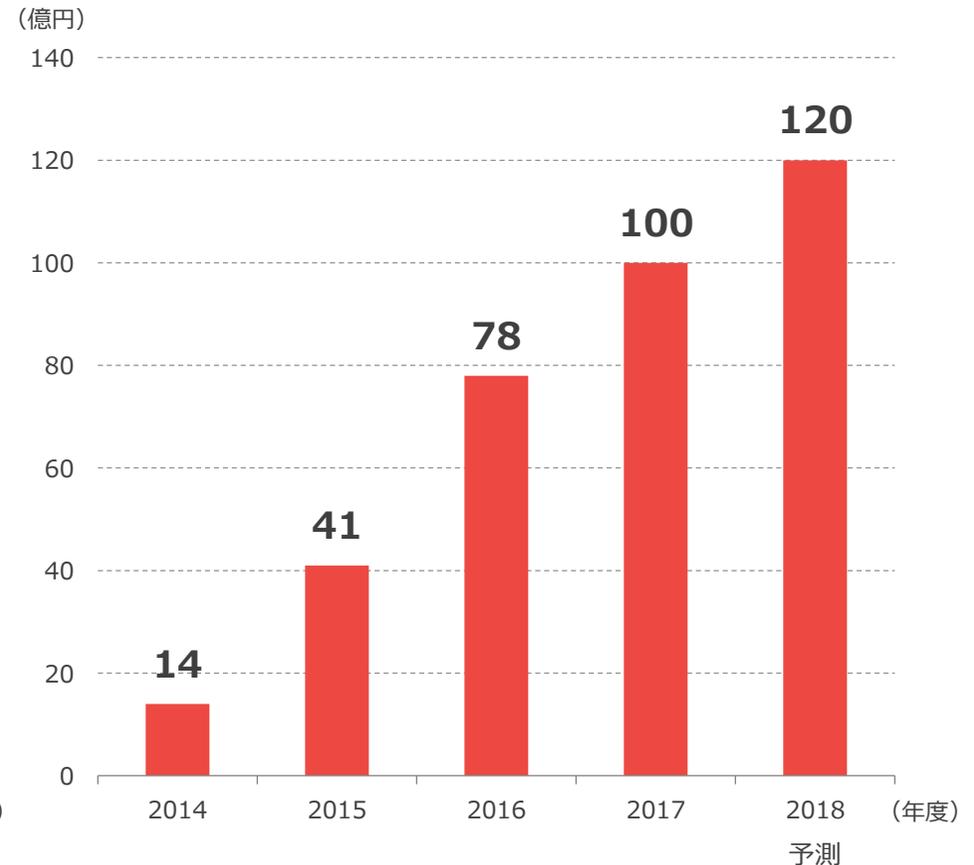
## 2. 市場・競合・自社分析

- ・電子書籍市場は2,241億円と堅調に成長 + 無料マンガアプリ広告市場も急成長しています。
- ・マンガアプリ事業はネットワーク外部性が効かない分散型の市場と思料しています。

## 電子書籍市場

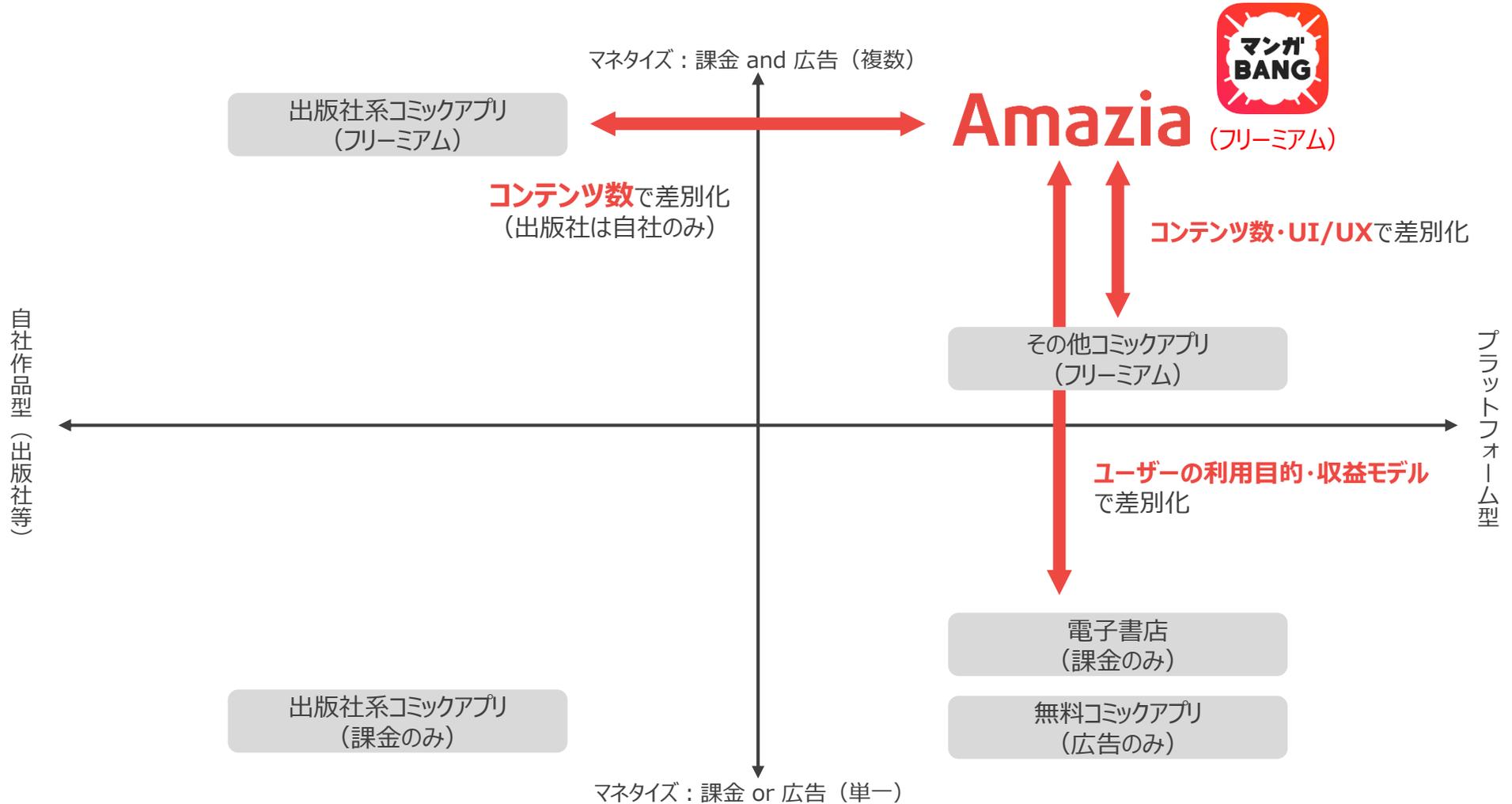


## 無料マンガアプリ広告収益市場



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2018」

コンテンツ競争力、収益機会の多様化など優れたビジネスモデルを構築しており、  
ユニークなポジショニングに成功しています。



## 01 アプリ開発力 / 02 マネタイズ力

## 03 ライトユーザー基盤

### 開発体制

- 企画・開発・運営を自社内で一貫

### 運営メンバー

- 市場調査力とそれを反映させる開発力・コンテンツ獲得力があるバランス型のメンバー構成

### コンテンツ獲得力

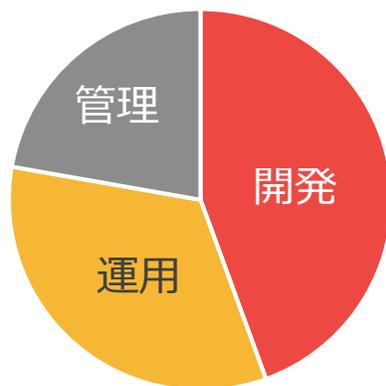
- ユーザ基盤、販売実績等が評価され、多数の出版社からコンテンツを獲得し、プラットフォーム型のビジネスを展開

- プレミアムモデルにより広範なユーザー層を獲得

## Amazia



### 社員構成割合



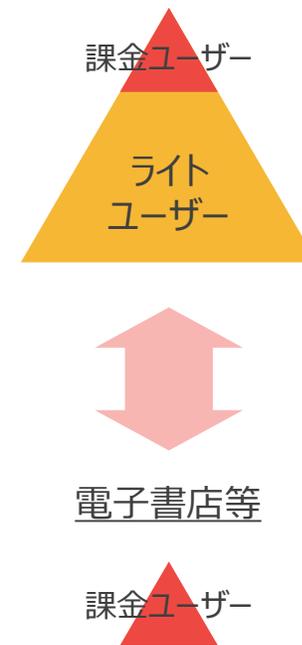
- 開発** : 平均開発経験10年程度のチーム編成
- 運用** : 電子取次、電子書籍サイト経験者
- 管理** : 公認会計士等



## Amazia

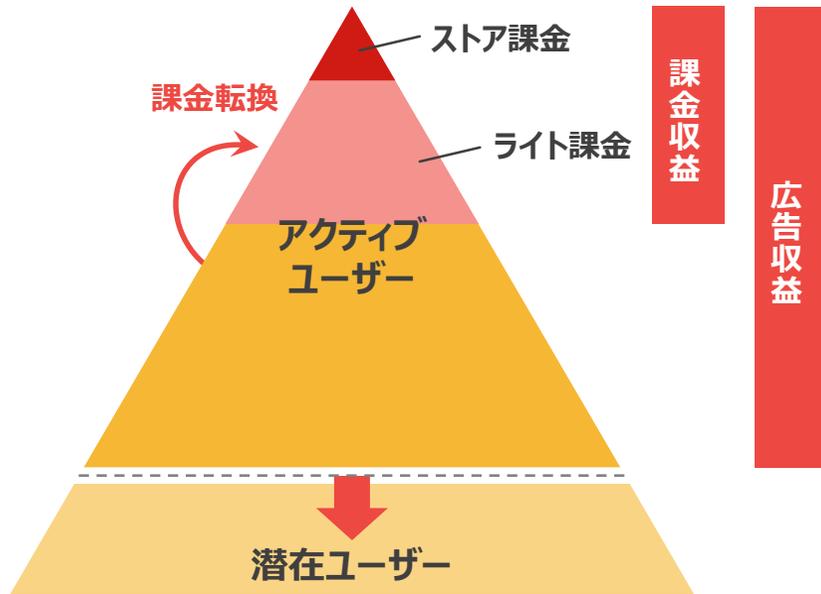


## Amazia

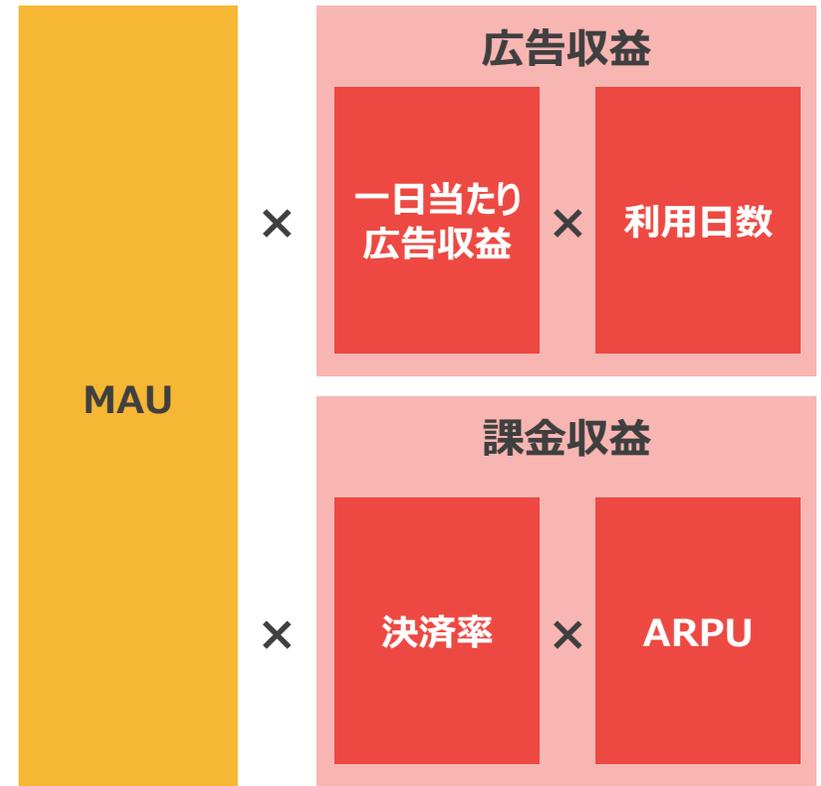


## フリーミアムモデル

- 広告収益・ライト課金モデルにより幅広いユーザーの獲得が可能



## 収益分解イメージ (KPI)

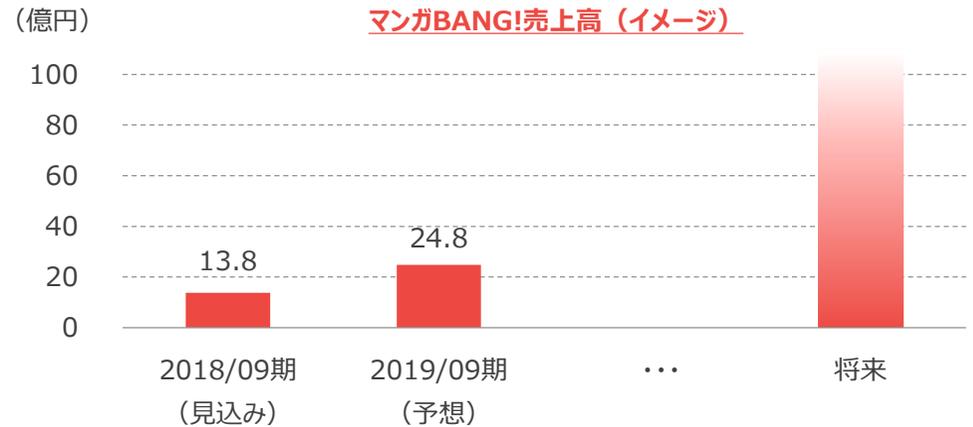


# Amazia

## 3. 成長戦略

## 01 マンガBANG! の拡大

- 人気作品の配信
- WEB展開
- マンガ派生コンテンツの配信



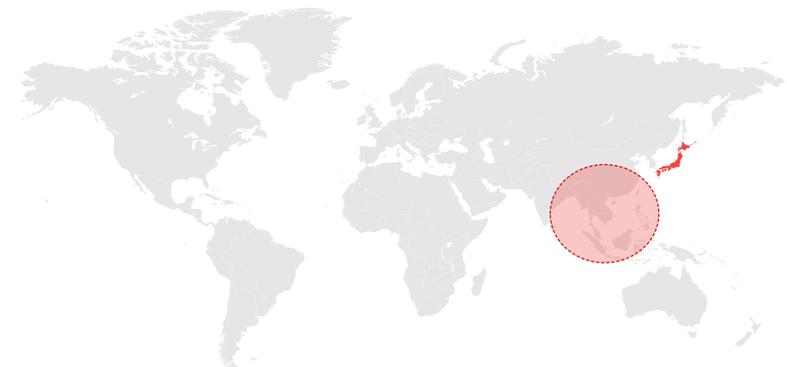
## 02 IP創出・展開

- 半オリジナル作品の制作・配信
- マンガEpic!からのIP創出・展開



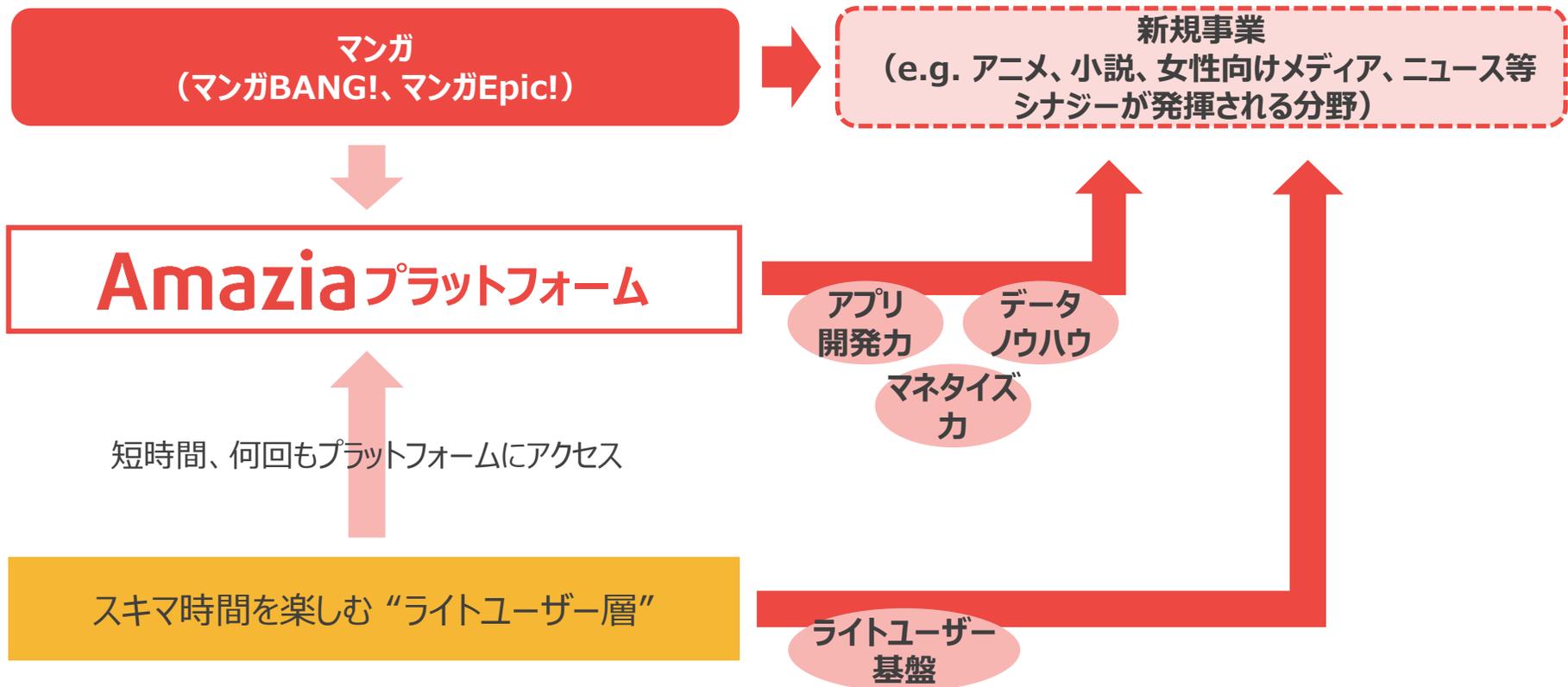
## 03 海外展開

- プレミアムモデルでのマンガサービス海外提供
- 日本の「マンガ」をプロモーションするプラットフォーム化



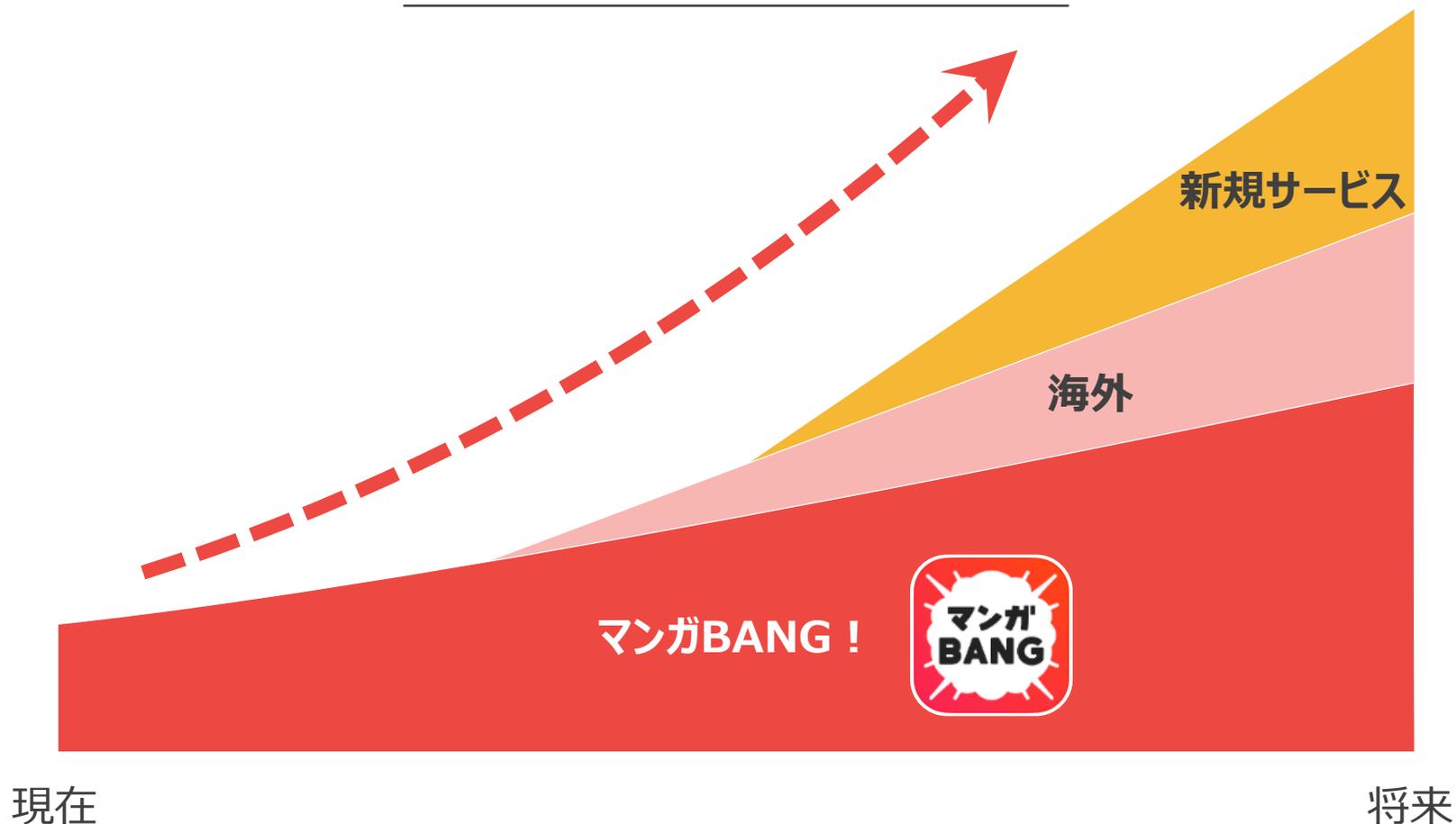
将来、高いアプリ開発力・マネタイズ力をベースとして、マンガ事業で培ったノウハウ・ユーザー層を活用することで、新規事業への進出および収益機会の拡大を行います。

親和性の高いジャンルに進出・強化



既存のマンガBANG！事業における成長に加え、海外進出や新規サービス導入により、プラットフォームとしての更なる成長を目指します。

MAU成長イメージ





代表取締役社長（共同創業者）

**佐久間 亮輔**

経歴

ジャフコ

シーエー・モバイル戦略投資室長

アイデアコミュニケーション代表取締役



取締役CTO（共同創業者）

**江口 元昭** 開発

経歴

フューチャーシステムコンサルティング

（現フューチャーアーキテクト）

アイデアコミュニケーション取締役



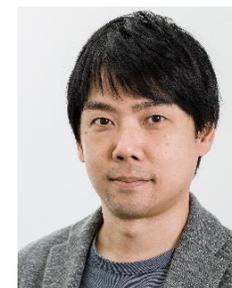
取締役CFO

**神津 光良** 管理

経歴

有限責任監査法人トーマツ

野村証券（出向）



運用GMマネージャー

**中村 文洋** 運用

経歴

インフォコム

アムタス



リードエンジニア

**西川 博志** 開発

経歴

ACCESS

ナビタイムジャパン

クウジツ

Creema



社外取締役

**村野 慎之介** 管理

経歴

エヌ・アイ・エフ ベンチャーズ

（現大和企業投資）

GABA取締役

磐梯インベストメンツ

シーエー・モバイル取締役 等



許諾営業マネージャー

**狩野 健太郎** 運用

経歴

出版デジタル機構

		第4期 2013年9月期	第5期 2014年9月期	第6期 2015年9月期	第7期 2016年9月期	第8期 2017年9月期	第9期 2018年9月期
売上高	(千円)	70,117	99,491	152,545	389,321	1,171,086	1,375,500
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	△3,602	11,153	△72,264	△18,733	△27,321	77,337
当期純利益又は当期純損失(△)	(千円)	△3,672	14,683	△72,555	△19,711	△29,254	94,951
資本金	(千円)	5,000	5,000	84,347	84,347	153,347	161,472
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,392	1,392	14,840	3,018,000
純資産額	(千円)	7,075	21,758	107,897	88,185	196,931	308,132
総資産額	(千円)	13,241	25,588	160,187	202,403	410,025	565,159
1株当たり純資産額	(円)	7,075.07	21,753.30	77,512.60	31.68	66.35	102.10
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	(円)	△3,672.33	14,683.23	△59,697.97	△7.08	△10.01	31.81
自己資本比率	(%)	53.4	85.0	67.4	43.6	48.0	54.5
自己資本利益率	(%)	△41.2	101.8	△111.9	△20.1	△20.5	37.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	—	—	—	9,501	△32,111	53,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	—	—	—	△11,136	△6,887	△9,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	—	—	—	△4,956	126,599	13,095
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	—	—	—	93,499	181,099	239,177
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	2 〔—〕	— 〔1〕	— 〔1〕	1 〔—〕	10 〔1〕	(未開示)

- 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 平成29年3月15日付で普通株式1株につき10株、平成30年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。第7期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失を算定しております。
- 第4期、第5期、第6期及び第9期の数値については、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けておりません。
- 第7期及び第8期の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。
- 第4期、第5期及び第6期についてはキャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、キャッシュ・フローに係る各項目については記載しておりません。
- 従業員数は就業人員（休職者を除く）であり、臨時従業員数（アルバイト含む。業務委託社員を除く。）は、年間平均雇用人員（1日8時間換算）を〔外書〕に記載しております。

- 本資料は情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集、投資勧誘、営業等を目的としたものではありません。
- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は投資家の皆様がいかなる目的にご活用される場合においても、ご自身のご判断と責任において、ご活用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。